

運送業界の現状

一般社団法人大阪府トラック協会

専務理事 岩井 勝彦

※部会等の場において約 30 社に聞き取りを行った。

①法令の遵守状況について「困っていること」

○運転時間の2日平均1日9時間以内

- ・関東に行くだけで片道約8時間かかり、複数箇所での積み降ろしもあるため、2日平均1日9時間以内に収めることが難しい。
- ・長距離運行で、関東や九州へ向かう便に関しては、片道9時間以内で抑える事は難しく、営業所の無いエリアに関しては、共同配送出来るよう他社と交渉し、対策を取っている。
- ・高速道路の渋滞や、荷待ち等の影響もある為、長距離便に関しては撤退し、エリア配送等に転換している。
- ・従業員にデジタコで時間管理を徹底させようと指導をしているが、ボタンの押し忘れ等もあって時間管理の徹底が出来ていない事もある。

○いわゆる「430 休憩(4時間連続運転した場合、30 分以上の中断が必要)」

- ・あと少しで SA にいけるのに間に合わない。
- ・休憩場所がないため、高速を降りて路肩で休憩を取っている。
- ・時間管理に関しては、数年前から意識して取り組んでおり、2時間で 15 分休憩を取るような運行計画、ドライバーへの指示を徹底している事から休憩時間に関しては問題ない。
- ・SA や PA 内の駐車場で、旅行者等の一般客が大型車専用駐車場に停めている事、大型観光バスの停車も含めて停車スペースが空いていないため、休憩を取らないといけな時間空いていない事がある。
- ・従業員に、法令遵守の為、事務所内で講習会を実施し、教育活動を行っている。

②運賃交渉について(賛否)

【否定的な意見】

- ・運賃は10%アップしたが、標準的な運賃には届いていない。
- ・運賃は上がったが微々たるもので、標準的な運賃には届いていない。
- ・単価が低い食品関係は厳しいが、全体で5%位はアップしており、現在も交渉を続けている。
- ・路線便に関しては、運賃交渉に応じてもらっており、多少ではあるがアップしているが、区域運送に関しては交渉には応じて頂いているが、運賃アップには繋がっておらず厳しい。

【肯定的な意見】

- ・以前までは荷主に相手にされなかったが、テレビ等の報道の影響もあり、運送業者の現状を以前より理解してもらえるようになり、交渉に応じてもらえるようになっている。
- ・理想の運賃には届いていないが、改善の見込みはある。
- ・現時点での値上げ成約率は60%で、残りの荷主にも働きかけを行っている段階。

③荷待ち時間について

- ・トラック予約受付サービス「MOVO」(*)を使用し、事前に予約を行い、荷待ち時間が発生しないよう運行管理を行っており、荷待ち時間が1時間~1時間半くらい削減出来ている。
※MOVO・・・(株)Hacobu の物流情報プラットフォーム
- ・予約受付サービスを使用しているが、システムの管理不足になっているせいか、同じ時間帯に予約している運送事業者とバッティングしてしまい、結局待機せざるを得ない状況。
- ・輸送物によるが、予約システムで希望する時間に荷卸し等へ向かうが、前の車の

荷卸し作業が完了しておらず、待機する事になる。

- ・会社からは、運行契約に無い、荷積み、荷卸し作業を行わないよう指導を受けているが、待機時間の関係や、次の現場へ向かう時間もある為、自分でフォークリフトを使用して、荷積み、荷卸し作業を行ってしまう。

④多重下請け構造について

・実際に、多重下請け構造の影響で、運賃が求める額に届いておらず困っているが、要求額に関して、交渉を詰めすぎると、仕事が無くなってしまう恐れもあって踏み込めない。

・下請けでもらっている仕事に関しては、要求している運賃額を貰えてないので、事業ごと撤退しようか検討している。

⑤その他

・改善基準告示は守れているが、時間外手当を減らすため、1日の休息期間を最低ラインの9時間ではなく、1時間プラスして10時間休んでもらっている。

・運賃も要求額に満たしておらず厳しいが、倉庫業も苦しい。

・設備費用、人件費アップに伴い、赤字が続いている。

・トラックGメンの働きかけを、強化してもらい、荷主の摘発を進めてほしい。